

地藏谷峰 791.5m 地形図「古谷」

ポンポン山雑感

2019年9月24日

三鍋敏郎

地藏谷峰は以前麻生川沿いにある熊ノ畑から登ったことがあるが、下山に使った熊ノ畑峠から熊ノ畑への道は荒れていた。

朽木能家に車を置いて、当初取り付き予定の尾根を見上げるが、斜度が厳しく諦めて、南東に進み地形図の穏やかな尾根を探す。標高 360m地点から地藏谷峰南尾根に取り付く。登り始めの標高差 80m 程は急登だが尾根に上がってしまえば楽ちんコースとなる。

自然林の尾根に植林地が絡むが概ね自然林の尾根が続いている。標高 550m を越える辺りにはイワカガミやブナが見られるようになる。東からの大きな尾根と合流すると尾根は北向きに変わる。緩やかに下り痩せ尾根になると、再び緩やかな上り、障害も少なく一部でユズリハなどが道を塞ぐが巻道をすれば通過できる。尾根にはブナの大木が多く残されており城戸さんにモデルになってもらい写真を撮る。

山頂が近づくと斜度がきつくなるが標高差 150mほどで主尾根に乗り右手に山頂が見える。地藏谷峰山頂は穏やかな尾根の膨らみで、ブナの大木やマンサク、カエデ、スギなどの樹林に囲まれ展望はない。時間的にも良いのでランチタイム。登りの途中で降り始めていた雨も不思議なことに今はあがっている。

下山は西尾根を少し歩いて尾根がくの字に折れる場所で南に下る。よく注意しないと行き過ぎるポイントだ。穏やかな尾根の下り、ブナの大木にワイヤーを掛けて架線の支柱にしたらしく痛々しく食い込んでいる。

P 613mで休憩。次のP 605mまでの地形と 605mを過ぎた尾根の最終点からの下山ルートの見つけ方を全員で学習する。

P 605 を過ぎ、尾根の分岐点で地形の検証。私達の下るべき尾根は、左右の目立つ間にある窪みを少し下がった場所から派生しているので見つけにくい尾根だ。私が少し下って下部に隠れた尾根を発見する。思いのほか穏やかな尾根で快適に下ることが出来る。イワカガミやヒカゲノカズラなどの緑が広がる尾根を快適に歩く。

道路に下り、能家集落を目指す。集落に差し掛かると止んでいた雨が再び降り出した。それにしてもこの集落には人影は無い。

★メンバー 三鍋・他 4 名 ★コース 地藏谷出合～360m～南尾根～地藏谷峰～西尾根下降点～P 613m～605m～尾根分岐点～西北西尾根～道路～出合